

令和6年度 八百津町小・中学校教育の方針と重点

『教育』は八百津町の**未来**、国の**未来**を左右する根幹である。「夢・志」「人道」「未来」

夢・志や人道の心をもち、たくましく あたたく しなやかに未来を生き抜いていく子どもを情熱をもって育てる

◇どの子にも、夢・志を描かせるとともに、人道の心の大切を実感させ、それらの実現のためには挑戦や努力が大切であることを実感させる。

一人一人の子どもは、社会の中で何らかの役割を期待されて生まれてきたかけがえのない存在である。よって、自分のためだけではなく、社会の一員として、社会的な役割と責任を果たす(人のため、地域や社会のために役立つ)夢・志や人道の心を、どの子にももたせたい。子どもたちは、夢・志や人道の心をもつことで、主体的に学ぶ意義や意味を考えることができるようになり、【生きる力】をつけるようになる。その実現のための努力をさせることに力を入れたい。これは、時代が変わっても変わらない、変えてはならない普遍的価値である。

◇たくましく あたたく しなやかに 未来を生き抜く子どもを育てるために【生きる力】の育成を図る。

変化の激しいこれからの世の中を生き抜いていくため、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」を、バランスよく育てることが大切であり、これが【生きる力】である。【生きる力】の指導のためは、未来を見据え、変わることや変えなければならないことを整理し、教職員自身がバージョンアップを図らねばならない。『基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して自ら考え、判断し、表現することにより様々な問題に積極的に対応し、解決する力』『自らを律しつつ、他人とともに協調する心、他人を思いやる心、感謝する心などの豊かな人間性』『たくましく生きるための健康や体力』などを育てたい。また、八百津町出身の元外交官杉原千畝氏の人道精神は町の宝であり、現在、そして将来に向けて引き継いでいくものである。そのために、豊かな人間性を育てるために、人道精神の啓蒙や人道教育に力を入れたい。

◇ふるさと八百津に誇りと愛着をもたせる。

ふるさとの人・もの・ことに積極的にかかわらせる中で、生まれ育ったふるさとを「心の拠りどころ」として、たくましく生きていく子どもを育てていきたい。八百津町で育った子を、「八百津町に住み続け、地域に貢献しようとする。」「一旦は八百津町を離れるが、やがて戻り地域のために尽くす。」「将来八百津町を出て、どこに住もうとも、郷土八百津町のことを決して忘れず八百津町に育ったことに誇りと愛着をもち、堂々と生きていく。」という人材の育成に力を入れたい。統合により校区が広がってもそれぞれのふるさとを大切にさせたい。

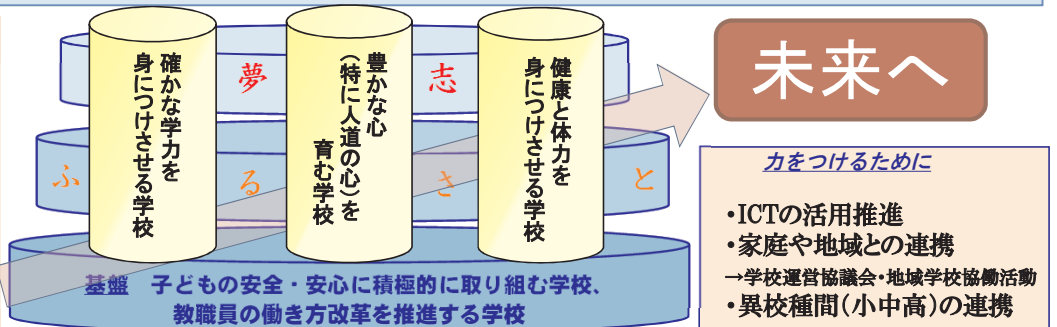
☆子どもの安全・安心に積極的に取り組む学校・職員の健康やキャリアデザインに配慮し、働き方改革を推進する学校

学校は子どもにとって生き生きと通うことができる安全・安心な場所(通学路を含めて)でなければならない。子どもの安全確保を最優先に考え、家庭・地域や関係機関との連携を強化するなど、危機管理体制の確立に力を入れたい。又、「子どものために」という教職員の熱意と労務管理を両立した、働きがいのある職場を、全職員の意識と知恵で創りだしたい。

～方針～

夢・志 人道 未来

- 夢・志、人道の心をもたせ「生きる力」の育成をとことん図る
- 地域や社会の発展に貢献できる力を育成する
- 未来を想起し、変化する社会に対応できるよう、指導方法を改善する



学校づくりにおける重点

学校経営 全教職員が協力して活力のある学校経営をする

- 管理職等リーダー層の指導性の発揮、教職員がベクトルを一つにし、互いの役割を果たしあい、支えあえる、「チーム学校」を目指す体制の充実
- 特色ある学校づくりの推進
- 安全・安心な学校づくりのための危機管理体制の確立
- 教職員の働き方改革と不祥事根絶・コンプライアンス意識の確立
- 学校運営協議会制度の積極的な活用と学校経営・運営への反映
- 学校事務職員の学校経営への参画

研修 自己の課題を明確にし、主体的に研修を進め、確かな指導力を身につける

- 今日の課題に的確に対応する研修の充実
- 教科、領域等専門性を磨く研修の実施
- ICT教育の充実のための研修(オンライン授業、ICTを活用した授業など)の実施

教科・領域における重点

教科指導 「基礎的・基本的な知識及び技能」の確実な習得と

「思考力、判断力、表現力」及び「主体的に学びに向かう力、人間性」を育てる

- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得や活用する力を育む指導の充実
- 「本時のねらいー課題ー学習活動ー定着の評価」の一体化のある授業実践
- 個に応じたきめ細かな指導の推進
- 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習過程の改善や課題解決的な学習の充実
- ICTを活用した授業実践の充実
- 家庭における学習習慣の形成と子どもの家庭学習の充実

道徳教育 自己を見つめる力と他を思いやる心を育てる

- 「自分ならどうするか」など「考え・議論する」道徳の授業への転換
- 道徳の時間と他の教育活動との関連を明確にした指導計画の工夫改善
- 豊かな体験活動を通した道徳教育の推進
- 道徳実践「あいさつ」「聞く姿勢」「美しさ」
- 「ぎふ いのちの教育」の推進
- ※町重点項目「思いやり」「基本的生活習慣」

小学校外国語(英語)活動 コミュニケーション能力の素地を育てる

- 主体的にコミュニケーションを図る姿が見現される授業の工夫・改善
- 中学年からの4年間を見通した指導計画の工夫・改善

特別活動 所属感を高め、自主的、実践的な態度を育てる

- 目標に向かって取り組み、存在感・所属感が味わえる学級経営の充実
- 集団や社会の一員としての自覚を深める自発的・自治的な活動の推進

総合的な学習の時間 主体的・探求的に問題を解決する資質や能力を育てる

- 学年・教科・小中の関連を明確にした指導計画の工夫・改善
- 体験的学習活動を重視した指導・援助の充実

教科領域の横断における重点

生徒指導 自分のあり方を正しく決定する「自己指導能力」を育てる

- 互いに共感的に理解し、尊重し合う人間関係の育成
- 「自己存在感」「自己有用感」を味わわせる支えや指導の推進
- 責任ある行動をとるために自己決定を促す支えや指導の充実
- 教育相談体制の充実
- 「SOSの出し方」教育の推進
- 生徒指導上の問題への組織的な早期対応

キャリア教育 自己の生き方を考え主体的に進路を選択できる能力や態度を育てる

- 自己理解を深め、生き方を考える学習活動の充実
- 望ましい勤労観や職業観が身につく体験活動の充実
- 発達段階に応じたキャリア教育の推進
- 「自分の役割の自覚・特性の理解」「将来の夢や希望」を育む指導の推進

健康・安全教育 健康で安全な生活を送る態度を育てる

- 健康で活力ある生活を送るための体力や運動能力向上の推進
- 自他の生命の尊重
- 食に関する指導や性に関する指導の充実
- 学校防災計画及び災害対応マニュアルの活用
- コロナ禍における防災教育の推進
- 交通事故や学校事故の未然防止、早期対応
- 熱中症への対応 食物アレルギーへの対応
- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取組

特別支援教育 個々の教育的ニーズに応じ、自立や社会参加の基盤となる力を育てる

- 一人一人の教育的ニーズを正しく理解した全教職員による組織的な指導の継続
- 能力や特性を発揮できる主体的活動への意図的・計画的な営みへの支援
- 互いの違いを尊重し、認め合いながら、「ともに学ぶ」体制づくり
- 保育園、可茂特別支援学校や関係機関と連携した支援体制の確立

人道(人権)教育 基本的人権を尊重する心を育てる

- 「ひびきあい週間」を節目にした、日常的な人道教育の推進
- 杉原千畝の人道精神を核とした思いやり心の醸成
- 教職員の崇高な人権感覚を基にした指導の充実
- いじめの未然防止、早期発見・早期対応・見届けの徹底

ふるさと教育 ふるさとを愛する豊かな心を育てる

- 八百津の自然、伝統、文化、産業等を、地域の人々とかかわりの中で学び、生き方やよさを発見する活動の推進(地域学校協働活動の推進)
- 地域活動への積極的な参加(行事への参画やボランティア)

Key word(子どもの姿のイメージ=夢・志の種)

挑戦する 夢中になる 目標をもつ 努力する よく考える
斜めから考える 心の声を聴く 引き出しあう しなやかに立ち直る

教師の構え 「やりたい」や「憧れ」を大切にする 「事実」とともに「事情」にも目を向ける 「引き出し合う」や「生み出す」を大切にする